

# 令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	情報・情報の科学	講座名	情報の科学	対象年次	1
教科担任	市川			単位数	2
教科書	情報の科学(東京書籍)				
副教材等	なし				

学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
------	---

月	期間	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
4月 }	第一回 定期 考査	・オリエンテーション ・情報社会の問題解決	12h	・学習内容と評価規準 ・IDとパスワード、情報の特性 ・問題を発見、解決する方法 ・情報モラル、情報セキュリティ ・情報社会における個人の果たす役割と責任 ・情報技術が果たす役割と望ましい情報社会の構築	・情報の特性とそれに基づく留意点について理解を深める。 ・問題を発見、解決するための方法を習得し、情報技術の活用について考える。
5月 }	第二回 定期 考査	・コミュニケーションと情報デザイン	14h	・メディアの特性とコミュニケーション手段 ・情報のデジタル化 ・情報デザイン ・効果的なコミュニケーション ・コンテンツ制作の過程と評価、改善 ・表現メディア制作実習	・アナログとデジタルの違いや特性を理解する。 ・効果的な情報伝達のためのデザインを理解し、制作を行う。
7月 }	第三回 定期 考査	・コンピュータとプログラミング	12h	・コンピュータの仕組み ・基本的プログラム ・応用的プログラム ・アルゴリズムの比較 ・モデル化とシミュレーション	・コンピュータの仕組みや計算誤差について理解する。 ・アルゴリズムとプログラム、シミュレーションについて理解し活用できるようにする。
10月 }	第四回 定期 考査	・コンピュータとプログラミング	16h	・システム企画、プログラミング実習 ・問題解決のための企画 ・情報デザインを含めた設計 ・プログラム開発 ・評価と改善	・情報技術を活用した問題解決のプロジェクト演習を行い、一連の流れを理解するとともに、情報社会に主体的に参画する考えを深める。
12月 }	第五回 定期 考査	・情報通信ネットワークとデータの活用 ・学習のまとめ	16h	・情報通信ネットワークの仕組みと役割 ・情報システムとデータの管理 ・データの収集、整理、分析 ・オープンデータを用いたデータ分析演習 ・情報社会の未来について考える ・1年間の学習のまとめ	・目的に応じて情報通信ネットワークや情報システム、データを効率的に活用する力を身につける。 ・これまでの学習のまとめを行う。

評価の観点・方法	①定期考査・小テスト ②実習課題・レポート ③授業への取り組み状況を総合的に判断し、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の観点について評価する。
----------	---